



米軍オスプレイ、米韓日演習で福岡空港11・14初飛来

11月14日9時頃、突如福岡空港に、米軍のオスプレイ機が飛来し、11時過ぎに離陸。午後には再飛来し、離陸した。目的は、E-2Cイーグルと米軍関係者の目撃情報から推測される。

この合同軍事演習は11月13日から15日までの3日間、九州島の南側の海上で行なわれたもので、米軍の原子力空母「ジョージ・ワシントン」などが参加。戦闘機による空中演習やミサイル撃墜演習などが実施された。今回のオスプレイによる演習は、離陸後、東シナ海を航行中の空母への送迎とされている。(なおその翌日の空母「ワシントン」は横須賀に帰港、配備された)

11・11三里塚横堀裁判、次回は2・17

11月11日千葉地裁で、横堀農業研修センター第4回裁判が開かれ、傍聴行動などが開かれた。被告は、三里塚横堀農業研修センター(三塚)の役員ら。原告は、三里塚横堀農業研修センターの役員ら。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。



▲千葉県庁前で土壌強奪反対！(11・11千葉市)

「市民連合」から今回の頭太が広げられたが、事前に把握できていれば超党派での飛来反対の集会が開かれたと見られる。今後とも考えられる飛来に向け、①安全保障閣議の廃止、②集団的自衛権行使の閣議決定撤回をめざす市民連合を中心とした抗議活動の構築が急がれる。(九州M通信員)

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

「三(三)面より」 眼目は、あくまでもアジアン貿易のための拠点確保であり、全島支配はこの手段は「ない」の「あり」が、今後の下段に民事裁判は含まれないと主張。裁きもそれを認めている。「ああゆるる」には行政執行以外も含まれることを、今日は強調した。また、清野氏は「今日の証言は追加の準備書面として提出し、反論していく」と発言した。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

住民と一般市民の大小の戦いを繰り返して、隘路や隘路の死傷者も数人を数えた。差別的な「勇猛果敢前進」によって、現在北の北、朝鮮半島の「善地」は、正花に溶けない野蠻人という差別語。清朝支配下では「善」と長じては、「田圃」といつても、この土地に「人の所有権」が存在し、人は土地の所有権を持ち、もう一人は土地の(長期あるいは永久)の使用権を持つ。台湾の「大小租」は、この「所有権」と密接な関係を持つ。理論上、未開墾の土地は、官庁に属するか、先住民に属するか、先住民の移住を妨げることのできる「少租」といわれる。清野氏は「(定期)労働と不定期の強制労働」によって、安住して耕作に従事できる、漢人の小作人を雇わざるを得なくなる。そして、多くの場合、経費が立ち行かず、土地を漢人に売却せねばならなくなった。第二に、商取引に慣れない先住民に対して、漢人が詐欺的に行い、強奪したりしたからである。第三に、先住民の土地を漢人が租借した。これをテコに略奪した。先住民の土地を手放すようにした。第四に、先住民に漢人が借金し、法外な金利で土地を失った。第五に、先住民は、先住民を生活と強奪に分けて、

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。

この日は柳川秀夫さん(被告)、平野靖彦さん(原告)が出席した。裁判は、三里塚横堀農業研修センターの役員らと三里塚横堀農業研修センターとの間で、三里塚横堀農業研修センターの役員らによる三里塚横堀農業研修センターの役員らに対する不法行為の損害賠償請求を争った。次回は2月17日開かれる。



紙上討論! 左派団結・統合 ④

『革命の大口標』の政治的意味

松平直彦

本紙「プロレタリア」の本年6月号において「革命の大口標」を提案した。それは21世紀の革命運動のどのような社会を目標とするのかを示したものである。...

① 唯物史観に立脚した総括が問われている

「一つの社会構成は、それが十分抱擁しうる生産力によって発展し切るまでは、決して新しい、さらには高度の生産諸関係は、その物質的

質的条件が成熟していきなかつたのである。百、四の「先進資本主義諸国」を含めて世界はまだ「産業発展」の途上時代にある。...

「資本主義的階級」は「資本主義的階級」に踏み込むことのできる条件が成熟していきなかつたのである。...

②ブルジョア社会の確立期と資本論

「ブルジョア社会」がどのような社会であるか、その経済的・社会的・政治的・文化的な特徴を明らかにする必要がある。...

③ロシア10月革命と社会革命の条件の未成熟

「ロシア10月革命」は、ブルジョア社会の確立期に於いて、社会革命の条件が未成熟であったことを示している。...

④「脱成長コミュニズム」論の誤謬

「脱成長コミュニズム」論は、社会主義の発展と生産力の発展との関係を誤解している。...

⑤ 革命の推進主体形成への課題

現代の革命の推進主体は、どのような階級から形成されるべきか、これが重要な課題である。...

⑥ 新たな出発へ

アメリカは今日、国際投機マネーと世界の情報システムを掌握し、全世界を支配しようとしている。...

「脱成長コミュニズム」論の誤謬 (続き)
現代の革命の推進主体は、どのような階級から形成されるべきか、これが重要な課題である。...